

## ● ● 小・中学校の特別支援教育の推進～読み書きの苦手な児童・生徒への支援～ ● ●

指導部主任指導主事 市川 裕二

平成 19 年度の特別支援教育への移行から八年、来年度には、特別支援学校の小・中学部や、小・中学校の特別支援学級及び通常の学級において特別な支援を受けている児童・生徒の全てが「特別支援教育時代の子供たち」になります。

特別支援教育の理念のひとつに、「特別支援教育は、知的な遅れのない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒が在籍する全ての学校において実施する」というものがあります。現在、この理念は、小・中学校に広く浸透しているところであると考えています。「全ての学校で実施する」とは「全ての教員が関わる」ということです。この点において、小・中学校の全ての教員に、発達障害の理解と指導に関する基礎的な知識・技能が求められていると言えます。

今回のスクラムでは、読み書きの苦手な児童・生徒への支援に関する記事を掲載しました。学習障害の児童・生徒に代表されるような「読み書き」が苦手な児童・生徒は、どのクラスにも在籍していると思われます。そのような児童・生徒に対して、困難の状況や原因を把握・分析し、「個別指導計画」等に基づく適切な指導と支援を展開することは、全ての教員に求められる知識・技能であると考えます。

また、「読み書き」が苦手な児童・生徒に対する指導や配慮点は、「誰にでも分かりやすい授業」を行うという点において、障害のない児童・生徒にも有効であり、円滑な学校経営にもつながります。

今回の記事が、「読み書き」が苦手な児童・生徒の指導に当たる先生方のヒントになるとともに、「全ての児童・生徒にとってわかりやすい授業づくり」の一助になることを期待します。

### 目 次

- 中学校数学・英語における習熟度別指導の推進について ..... 2
- 東京都道徳教育推進教師養成講座を実施しました ..... 3
- 読み書きに障害のある児童・生徒の指導について ..... 4

東京都教育委員会ホームページ内に「学び応援ページ」というコーナーがあるのを御存知ですか？

「学び応援ページ」には、各学校が、指導内容や指導方法等の工夫を通して、授業の改善・充実を図ることを応援するための、様々な事例集や報告書等を掲載しています。ぜひ、御覧いただき、参考にさせていただければと思います。なお、本通信のバックナンバーも、順次「学び応援ページ」に掲載します。

（東京都教育委員会ホームページアドレス  
<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>）

**学び応援ページを御活用ください！**

**東京ベーシック・ドリルも  
こちらに掲載しています！**

東京都教育委員会ホームページ・トップページ  
の下の方に、このバナーがあります！



★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、[S9000024@section.metro.tokyo.jp](mailto:S9000024@section.metro.tokyo.jp) へメールを御送信ください。

# 中学校 数学・英語における習熟度別指導の推進について

東京都教育委員会では、東京の子供たち一人ひとりの「確かな学力」の定着と伸長を図るため、様々な施策を展開しています。

昨年度、習熟の程度に応じて編成した学習集団の実態を踏まえて、教材や指導方法を変えるなど、一層細やかな工夫を行うとともに、一人ひとりの学習状況に応じて前の学年の内容にまで立ち戻る指導を推進するため、小学校算数において「東京方式 習熟度別指導ガイドライン」を策定しました。そして、今年度から新たに習熟度別指導に取り組んでいる学校では、本ガイドラインに基づいた指導を行っています。

また、今年度は、中学校数学・英語におけるガイドラインを策定しました。

## ◆「東京方式 習熟度別指導ガイドライン」に基づいた効果的な指導の実施

子供たちにとって、より効果的な習熟度別指導が行えるようにするための指針として、「東京方式 習熟度別指導ガイドライン 中学校数学」及び「東京方式 少人数・習熟度指導ガイドライン 中学校英語」を策定しました。子供たち一人ひとりの習熟の程度に応じた学習指導に関わる指導方法・指導体制及び校内での習熟度別指導の推進体制等についての内容を載せています。この「ガイドライン」に基づく指導を通して、全ての子供の学習満足度を高め、確かな学力を身に付けることを目標とします。

9月に、各中学校及び中等教育学校の校長先生方にお集まりいただき、「ガイドライン」に基づいた数学・英語における習熟度別指導の推進について、説明会を開催しました。御参加いただき誠にありがとうございました。

説明会でいただいた御質問等を踏まえ、以下にQ&Aをお示しします。

### Q. 「ガイドライン」に基づく習熟度別指導は、いつから実施されるのですか？

A. 平成 27 年度は準備期間となりますが、平成 28 年度からは、習熟度別指導を実施する全ての中学校で「ガイドライン」が適用となります。各学校においては、「ガイドライン」の内容を全教職員が理解し、校内体制を整備するなど、円滑な実施に向けた準備をお願いします。

なお、平成 27 年度から「ガイドライン」に沿って実施できる学校については、是非、取組を開始していただきたいと思えます。

### Q. 数学は「習熟度別指導」、英語は「少人数・習熟度別指導」となっているのはなぜですか？

A. 数学においては、中学校入学時から理解や習熟の程度に差が見られることから、習熟の程度に応じた学習集団による指導が効果的であるため、小学校算数と同様に「習熟度指導」を基本としたガイドラインとなっています。

英語においては、コミュニケーション能力の基礎を効果的に育み、生徒のもつ可能性を最大限に広げるためには、一人ひとりの十分な学習活動及び発話量を確保し、個に応じた指導の充実を図ることが必要です。そのため、「少人数」を基本として習熟度別指導を推進するガイドラインとなっています。

### Q. 中学校英語では、学習集団の編成例が示されているが、どの編成を選択すればいいのですか？

A. 英語では、2学級3展開の編成例として、「習熟の程度を考慮した少人数学習集団」「習熟度別による学習集団」を例1から例4まで掲載しています。この学習集団については、中学校3年間で固定化することなく、これらの例を基に、各学年段階の学習内容の特性や生徒の状況等に応じて、各学校が4つの例から選択し、3年間を見通した計画的な編成を行っていただくようお願いします。

東京都の全ての子供たちの「できない」「わからない」を  
「できる」「わかる」に！



平成 26 年度

## 東京都道徳教育推進教師養成講座を実施しました

東京都教育委員会では、8月に、平成 26 年度 東京都道徳教育推進教師養成講座を実施しました。本講座は、区市町村教育委員会や教員研究団体と連携し、各学校における道徳教育推進の核となる実践力のある教員を育成することを目的としています。平成 28 年度までの3カ年で、都内全ての公立小・中学校及び中等教育学校から各1名の先生に参加していただき、道徳教育の推進と充実を図っていきます。

今年度の講座の様子を御紹介します。

### ねらいに沿って読み物資料をとらえる。

#### ●講座1日目（8月5日・6日 国立オリンピック記念青少年総合センター）

講座1日目は、午前中に道徳教育の現状や課題、道徳教育推進教師の役割等について講義を聴き、午後からは分科会形式で演習を行いました。

分科会では、実際に2つの読み物資料を取り上げ、授業のねらいに応じて効果的に活用するためには、どの場面に着目させ、どのような発問をすればよいか、協議をしました。

どの分科会でも、道徳の時間のねらいに沿った授業の組み立て方や資料の捉え方、発問構成や予想される反応等について、活発な意見交換が行われていました。



### 読み物資料から子供たちの心に迫る。

#### ●講座2日目（8月20日 なかのZERO小ホール）

講座2日目は、大阪府貝塚市立木島小学校長 川崎雅也 先生を講師としてお招きし、「道徳の時間で何を育てるのか」という演題で講義をしていただきました。

講義冒頭の、「子供たちに『考えさせる』のではなく、教師もまた一人の人間として、どのように生きるべきかを『共に考える』ことが大切である。まず、教師が、自分の生き方を探求できる人間でなければならない。」という川崎先生の言葉に、深くうなづく先生方が大勢いました。

会場の先生方を子供に見立てた模擬授業を交えながらの講義は、大変具体的で分かりやすく、また、どのように子供たちの心に迫り、心を育てていくかという熱のこもったお話に、会場の先生方がどんどん引き込まれていく様子が伝わってきました。

「道徳の時間は、過去の自分を懺悔する場ではなく、未来をよりよく生きる術を考える時間である。」 川崎先生の思いが会場中に広がっていくような講義でした。

#### 講座終了後のアンケートから

- ◆ 分科会での協議が大変勉強になった。他の読み物資料にも生かせる視点をもつことができた。
- ◆ 道徳の時間の授業をどのように組み立てればよいかがよく分かりました。全教員で共有します。
- ◆ これまで道徳に苦手意識をもっていました。自分にもできそうだと思うようになりました。
- ◆ この講座で学んだことを、早く実際に生かしてみたい。2学期の道徳の時間が楽しみです。

### Information

#### ◆ 東京都道徳教育教材集 活用のための資料集

東京都道徳教育教材集 小学校版「心あかるく」「心しなやかに」「心たくましく」、中学校版「心みつめて」を道徳の時間などで活用するための資料集を作成しました。ぜひ御活用ください。

〈ホームページ掲載〉東京都教育委員会ホームページ →  → 道徳教育

資料の活用方法等について、メール・マガジン「Scrum」第39号で解説しています。併せて御参照ください。（学び応援ページに「Scrum」のバックナンバーを掲載しています。）

## 「特別支援教育の窓」

—全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して—

### 読み書きに障害のある児童・生徒の指導について

「読み書き」が苦手な児童・生徒は、どのクラスにも在籍していると思われます。そのような児童・生徒に対して、困難の状況や原因を把握・分析し、「個別指導計画」等に基づく適切な指導と支援を展開することは、全ての教員に求められる知識・技能であると考えます。東京都教育委員会では、東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画の一環として、読み書きに障害のある児童・生徒の指導について、指導の在り方や指導実践の例について資料をまとめました。今回は、この資料を基に、指導のポイントについて紹介します。



特別支援教育資料  
「小・中学校の特別支援教育の推進のために」  
(平成 26 年 3 月)

#### 学校や家庭で読みや書きで困っている児童・生徒はいませんか

例えば…

- 音読が苦手、教科書が読めない。
- 漢字の読み書きが苦手である。
- 文章の読解が苦手である。
- 作文が苦手である。 …など

このような場合、なぜ読み書きにつまずいているかを調べて、その児童・生徒に応じた「わかりやすい授業」を行うことが大切です。

#### 読み書きに障害のある児童・生徒の指導の流れとポイントについて

##### ● なぜ読み書きにつまずいているかを調べます。

- 単語をまとまりとして読むことができるか（一文字ずつ読んでいないか）。
- 「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」が入った言葉（特殊音節）を読むことができるか。
- 漢字の細かい部分の書き間違いはないか。
- ある状況を示したイラストを見て、その状況を説明できるか。
- 「は」や「を」、「、」、「。」を正しく使って文を書くことができるか。

このような場合、以下の指導内容や方法等について「個別指導計画」等に基づく適切な指導と支援を展開します。

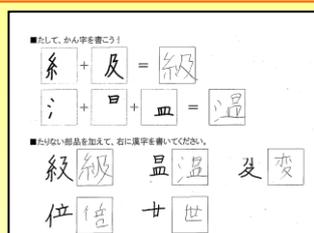
##### ● 例えば、このような指導目標に応じて、わかりやすい指導を展開します。

特殊音節を含んだ単語を正確に読むことができる



- 「っ」を含んだ単語の読み方を確認し、  
「ねっこ」＝「●●●●」のシールを貼ります。
- 読むときには、  
「ねっこ」＝「×・×」と手を打って、読みを確認します。

漢字の細かい部分に気を付けて、正確に書くことができる



- 漢字の一部を見て、一つの漢字を合成する指導をします。また、あらかじめ間違った漢字を提示し、その間違いに気付かせるなどの指導をします。

物語文のできごとの流れの理解ができる



- 挿絵の様子を短文で書くワークシートを用意し、文章全体の内容を捉えられるよう指導します。

指導が終了したらその成果について評価し、「個別指導計画」を更新します。

※ 読み書きに障害がある児童・生徒への指導方法について、東京都教育委員会ホームページに掲載しています。御参照ください。  
[http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/26tokushi\\_suishin.htm](http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/26tokushi_suishin.htm)